

金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻
（仮称、修士課程）に関する意向調査
＜大学院進学アンケート（在学生）＞

集 計 結 果

目 次

<アンケート調査概要>	1
<大学院進学意向>	2
<アンケート調査票>	3
<アンケート集計結果>	7

<アンケート調査概要>

1. 実施アンケート

「金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（仮称、修士課程）に関する意向調査」

2. 調査対象

金城大学医療健康学部理学療法学科、作業療法学科在学生

3. 調査実施

平成 25 年 12 月

4. 調査方法

調査対象者に直接配布・回収

5. 回収状況

有効回答票 322 票

回収率 91.7%（回答数 322 人÷依頼数 351 人）

＜大学院進学意向＞

大学院進学（在学生）アンケートによる「金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（仮称）」への進学意向について、実数での回答は以下の通りである。

④ 金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（仮称）への進学意向	実 数
1 ぜひ入学したい	64 人
2 できれば入学したい	15 人
3 経済的・時間的な余裕、職場の理解等の条件が整えば入学したい	32 人
4 将来の選択肢の一つとして考えたい	72 人
5 大学院の特定科目のみ受講したい	1 人
6 他の大学院に入学したい	5 人
7 今は分からない	79 人
8 入学は希望しない	54 人
計	322 人

<アンケート調査票>

金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻

(仮称、修士課程)に関する進学意向調査

金城大学では、理学療法士・作業療法士資格をお持ちの方が入学可能な大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻(仮称、修士課程)を、平成27年度を目標として開設することを検討しています。つきましては、大学院設置構想検討の参考とするために、金城大学医療健康学部理学療法学科・作業療法学科在学生を対象として、本学大学院に関する進学意向等を調査することとしました。

なお、本調査は無記名で行われ、結果は統計的に処理され調査目的以外に使用することはありませんので協力をお願いします。

金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻(仮称)

設置計画概要(検討中のものを含む)

1. 設置場所および入学定員：金城大学の現在のキャンパス内(石川県白山市笠間町1200)入学定員は5名程度を予定しています。
2. 受験資格：理学療法士、作業療法士の資格を有する方(大学を卒業していなくても、実務経験、研究業績等から大学卒業と同等以上の学力を有すると認められた方は、受験を可能にする予定です)。
3. 開講時間等：就職しながら学ぶことを支援するために、昼夜開講、週末開講等を検討しています。
4. カリキュラム：理学療法、作業療法に関する専門科目に加え、生理学・解剖学等の基礎医学、精神科学、発達・心理学関連等の科目についても開講を予定しています。また、勤務先における職務経験が、大学院における学修・研究に生かせるようなカリキュラム(いくつかの症例を基礎として論文にまとめることを認める等)も計画しています。
5. 学費および学費等の減免制度：

学費【年額】(予定) (単位 円)

	入学金	授業料	教育充実費	合計
1年次	200,000	600,000	145,000	945,000
2年次	-	600,000	145,000	745,000

また、就職しながら学ぶことを支援するために、長期履修制度(職場の都合等やむを得ない理由により最短の2年で修了できない場合、3年目以降の学費を減免する制度)、成績優秀者への奨学金制度、金城大学卒業者に対する入学金減免制度等について検討しています。

金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（仮称）に関する意向調査

あてはまる番号を□内に記入し、必要事項を()内に記入してください。

① 性別

1. 男性
2. 女性

1

② 学科・学年

1. 理学療法学科 () 年)
2. 作業療法学科 () 年)

2

③ 実家の住所（卒業後住む予定の住所が決まっている場合は、その住所）
() 県 () 市・町・村

④ 金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（仮称）への進学意向（最もあてはまる番号を1つだけ記入してください）

1. ぜひ入学したい
2. できれば入学したい
3. 経済的・時間的な余裕、職場の理解等の条件が整えば入学したい
4. 将来の選択肢の一つとして考えたい
5. 大学院の特定科目のみ受講したい
6. 他の大学院に入学したい（具体的に、)
7. 今はわからない
8. 入学は希望しない

4

以下については、④で1～5を選択した人のみご記入ください。

④で6～8を選択した人は、以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

⑤ 金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（仮称）で学びたい理由（あてはまる番号を全て記入してください）

1. 取得予定の資格・将来の職業の専門性を高めたい
2. 最先端の知識・技術を身につけたい
3. 大学院で専門的に研究したいこと（テーマ）がある
4. 今後は、社会的に大学院修了が求められるようになると思うから
5. 今後は、上位資格（専門〇〇療法士、認定〇〇療法士等の資格）を取得するために大学院修了が必要になると思うから
6. 今後、職場において中核的・指導的な役割を果たすためには、大学院で学ぶことが必要だと思うから
7. 将来、研究職を目指したいから
8. 将来、理学療法士、作業療法士養成校の教員を目指したいから
9. その他（具体的にご記入ください)

⑥ あなたが金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（仮称）に期待すること（あてはまる番号を全て記入してください）

1. 高度な知識、技術を備えた人材の育成
2. 職場において指導的役割をはたせる人材の育成
3. 理学療法士・作業療法士の養成校教員を養成すること
4. 共同研究による高度医療等への対応
5. 先進的な治療方法等の開発・導入
6. 研修会等の開催により、最先端の知識・技術を修得する機会を設ける
7. 自分自身が履修を希望する科目について、科目等履修生（聴講生）等として受け入れる
8. その他（具体的にご記入ください）

⑦ あなたが金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（仮称）に入学する場合に希望すること（あてはまる番号を全て記入してください）

1. 職務に支障がないよう授業開講時間帯等に配慮する
2. 経済的負担を軽減するために、授業料等について配慮する
3. 成績優秀者に対する奨学金（授業料減免）制度を設ける
4. 職務の都合等やむを得ない理由により最短の在学期間（2年間）で修了できない場合、3年目、4年目の授業料を減免する（長期履修制度の導入）
5. 金城大学医療健康学部卒業生が入学する場合は入学金を減免する
6. 通学の利便性を考慮し、一部の科目を金沢市内（サテライトキャンパス）で開講する
7. 職場における臨床経験が研究につながるよう配慮する
8. 大学院で学んだ経験が、職務に生かせるよう配慮する
9. その他（具体的にご記入ください）

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

<アンケート集計結果>

「金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻
（仮称、修士課程）に関する意向調査」回収表

〔回収状況〕回収数：322 票

学部・学科	学年	在籍者数	配布数	回収数	回収率
医療健康学部 理学療法学科	1年生	62人	62票	56票	90.3%
	2年生	89人	89票	89票	100.0%
	3年生	66人	65票	61票	93.8%
	4年生	117人	108票	79票	73.1%
医療健康学部 作業療法学科	1年生	40人	40票	37票	92.5%
計		374人	364票	322票	88.5%

「金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻
（仮称、修士課程）に関する意向調査」集計表

〔有効回答票：322票〕

① 性別

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性	150	46.6
2	女性	172	53.4
	不明	0	0.0
	N (% [^] -入)	322	100.0

②-1 学科

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	理学療法学科	285	88.5
2	作業療法学科	37	11.5
	不明	0	0.0
	N (% [^] -入)	322	100.0

②-2 学年

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	93	28.9
2	2年	89	27.6
3	3年	61	18.9
4	4年	79	24.5
	不明	0	0.0
	N (% [^] -入)	322	100.0

③ 実家の住所

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	石川県	206	64.0
2	富山県	62	19.3
3	福井県	25	7.8
4	新潟県	15	4.7
5	長野県	3	0.9
6	その他	8	2.5
	不明	3	0.9
	N (%ベース)	322	100.0

④ 金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻への進学意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ぜひ入学したい	64	19.9
2	できれば入学したい	15	4.7
3	経済的・時間的な余裕、職場の理解等の条件が整えば入学したい	32	9.9
4	将来の選択肢の一つとして考えたい	72	22.4
5	大学院の特定科目のみ受講したい	1	0.3
6	他の大学院に入学したい	5	1.6
7	今は分からない	79	24.5
8	入学は希望しない	54	16.8
	不明	0	0.0
	N (%ベース)	322	100.0

⑤ 金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻で学びたい理由
(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	取得予定の資格・将来の職業の専門性を高めたい	142	77.2
2	最先端の知識・技術を身につけたい	108	58.7
3	大学院で専門的に研究したいこと(テーマ)がある	14	7.6
4	今後は、社会的に大学院修了が求められるようになると思うから	31	16.8
5	今後は、上位資格(専門〇〇療法士、認定〇〇療法士等の資格)を取得するために大学院修了が必要になると思うから	48	26.1
6	今後、職場において中核的・指導的な役割を果たすためには、大学院で学ぶことが必要だと思うから	46	25.0
7	将来、研究職を目指したいから	4	2.2
8	将来、理学療法士、作業療法士養成校の教員を目指したいから	23	12.5
9	その他	1	0.5
	不明	5	2.7
	N (% [^] -s)	184	100.0

⑥ 金城大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻に期待すること
(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	高度な知識・技術を備えた人材の育成	154	83.7
2	職場において指導的役割をはたせる人材の育成	102	55.4
3	理学療法士・作業療法士養成校教員の養成	54	29.3
4	共同研究による高度医療等への対応	45	24.5
5	先進的な治療方法等の開発・導入	58	31.5
6	研究会等の開催により、最先端の知識・技術を修得する機会を設ける	47	25.5
7	自分自身が履修を希望する科目について、科目等履修生(聴講生)等として受け入れる	19	10.3
8	その他	2	1.1
	不明	5	2.7
	N (% [^] -s)	184	100.0

⑦ 金城大学大学院リハビリテーション学研究所リハビリテーション学専攻に入学する場合に希望すること（複数回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	職務に支障がないよう授業開講時間帯等に配慮する	149	81.0
2	経済的負担を軽減するために、授業料等について配慮する	128	69.6
3	成績優秀者に対する奨学金（授業料減免）制度を設ける	56	30.4
4	職務の都合等やむを得ない理由により最短の在学期間（2年間）で修了できない場合、3年目、4年目の授業料を減免する（長期履修制度の導入）	64	34.8
5	金城大学医療健康学部卒生が入学する場合は入学金を減免する	91	49.5
6	通学の利便性を考慮し、一部の科目を金沢市内（サテライトキャンパス）で開講する	30	16.3
7	職場における臨床経験が研究につながるよう配慮する	48	26.1
8	大学院で学んだ経験が、職場に生かせるよう配慮する	68	37.0
9	その他	1	0.5
	不明	8	4.3
	N（% [^] -ス）	184	100.0

金城大学と白山市との連携・協力の例

	事業名	内容	実施回数等
1	「金城大学公開講座」 (医療健康学部・社会福祉学部・短期大学部)	白山市の後援のもと、市民を対象とした公開講座を毎年実施している。	年20回程度開催
2	「北國健康生きがい支援事業」	一般の方を対象にした「社会福祉講演会」、「医療健康講演会」、「第3回福祉創造フォーラム」を開催している。	年3回程度開催
3	世代間交流事業 「ゆうがく広場」	地域住民と本学社会福祉学部学生が交流する学内サロン。アクティビティプログラム、園芸プログラム、介護予防教室参加プログラムを中心として行われている。	年8回程度開催
4	「介護技術講習会」	介護福祉士国家試験の実技試験免除となる講習会	年4回（各4日間）程度開催
5	「悠遊健康サークル」	白山市、白山市高齢者支援センター等との連携のもと、地域における効果的な健康増進システムを構築、導入することで市民一人ひとりの主体的な心身の健康づくりを支援することを目的とした事業である。	年12回程度開催
6	各種委員等の派遣	白山市の各委員会等へ専任教員を委員として派遣している。	
7	幼稚園・保育所の移管	白山市立西南幼稚園は、昭和54年から金城学園が管理運営を委託してきたが、平成20年4月から金城大学附属西南幼稚園として金城大学へ移管された。 また、白山市立蝶屋保育園は、本学の関連法人として設置された社会福祉法人金城福祉会に、平成24年3月に移管された。	
8	金城大学の設置及び医療健康学部、看護学部の設置等	金城大学は、松任市（現白山市）より9億円の補助金を受けて設置され、その後、医療健康学部の設置の際にも白山市から2億円の補助金を受けている。 さらに、平成27年開設予定の看護学部の設置においても、白山市から3億円の補助金を受け、白山市が中心となって設立された白山石川医療企業団からは校地や設備・備品の無償貸与を受ける。	